

記載されている情報の正確さについては万全を期しておりますが、当会は利用者が当会の情報を用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。

情報カテゴリ：学術団体からの情報;学術論文情報

主に該当する領域区分：慢性期;在宅期

タイトル：The Post-COVID-19 Functional Status (PCFS) Scale: a tool to measure functional status over time after COVID-19

概要：Post COVID-19 患者の機能状態をスクリーニングするツールとして提唱しております。After corona の患者さんをフォローする際に、その必要性を判断していくために、ガイドする目的で作成されたとのことで、順序尺度による評価ツールです。ツール自体はまだ妥当性は検証されていないようで、今後妥当性や利便性の構築していくために、フリーで使用できるそうです。

出典

<https://doi.org/10.1183/13993003.01494-2020>

アクセス日：2020-8-2

情報カテゴリ：学術団体からの情報;学術論文情報

主に該当する領域区分：慢性期;在宅期

タイトル：Persistent Symptoms in Patients After Acute COVID-19

概要：イタリアの Post COVID-19 患者 143 名を対象に、発症した時の症状と発症から約 60 日経過した後の症状の Prevalence を調査した報告です。COVID-19 に罹患後の症状の内、疲労感(53.1%)・呼吸困難(43.4%)・関節痛(27.3%)・胸痛(21.7%)の順に症状を後遺されるとのことです。また患者の 44.1% は QOL が低下している結果となっています。

出典

<https://jamanetwork.com/journals/jama/fullarticle/2768351>

アクセス日：2020-8-2

情報カテゴリ：学術団体からの情報;学術論文情報

主に該当する領域区分：慢性期;在宅期

タイトル：COVID-19 and pulmonary rehabilitation: preparing for phase three

概要：Post COVID-19 患者(急性期を脱した回復後患者)に対する、呼吸リハビリテーションの必要性について述べた報告です。急性期における介入の方針は固まってきているが、その後の phase について準備していくべきことや、non-COVID-19 患者との症状の違いはどのように特徴づけられるのかはわかっていないこと、現在までエビデンスが確立しつつある ARDS 患者に対する早期離床・リハや PICS に対する介入と、どのように区別されてフォローしていくべきかが今後の課題であることが述べられております。

出典

<https://doi.org/10.1183/13993003.01822-2020>

アクセス日：2020-8-2